

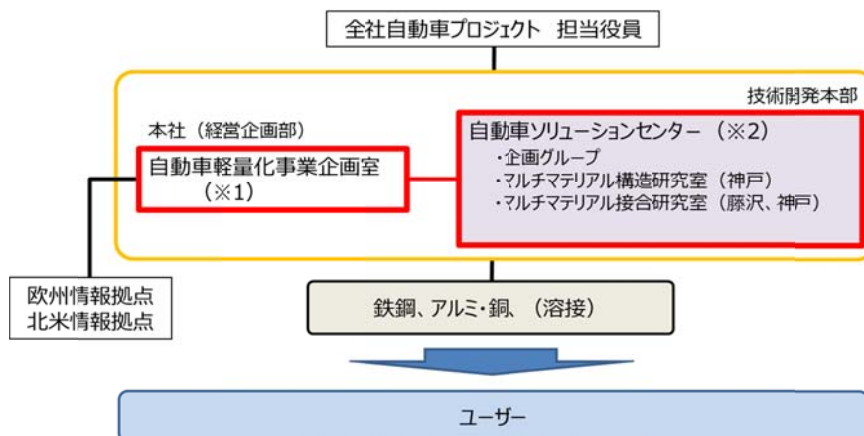
## 自動車ソリューションセンターの新設について

当社は2017年4月1日付で、技術開発本部内に「自動車ソリューションセンター」を新設します。自動車の軽量化に向けたマルチマテリアルソリューション技術の重要性が高まる中、現行のマルチマテリアル構造・接合研究室を発展的に改編し、新たに全社自動車プロジェクト担当役員も配置する事で、意思決定の迅速化と当社独自のソリューション提案力の強化を図ります。

2016年～2020年グループ中期経営計画において、社会的ニーズが高く、今後注力すべき成長分野として「輸送機の軽量化」を掲げております。鉄・アルミ等の素材や溶接事業を有する複合経営の利点を活かして、「超ハイテンやアルミ素材の競争力強化」と「マルチマテリアル化を実現する当社独自のソリューション技術」を武器に、自動車分野における成長を目指しております。その背景として、各国における燃費規制強化に対応する為に、自動車メーカーが積極的に軽量化を進めており、素材・工法・接合などの新たな技術の適用を進めていることが挙げられます。それに伴ってコストや生産上の問題も増加しており、それらを解決する為のソリューション技術は重要性を増しています。

この為、軽量化に貢献できる超ハイテンやアルミなどの素材拡販に向けて、幅広くソリューション提案力を強化すべく、現在は技術開発本部の機械研究所内にあるマルチマテリアル構造・接合研究室を機械研究所から独立させ、自動車軽量化に特化した「自動車ソリューションセンター」を新設します。さらに、全社自動車プロジェクト担当役員を新たに配置し、要員も拡充することで、意思決定の迅速化とソリューション提案力の強化を図ります。「自動車ソリューションセンター」では、これまでのソリューション技術に新たに異材接合技術（特に溶接技術）を加え、当社独自の軽量化提案を行ってまいります。複数素材と接合を俯瞰できる当社ならではの価値提供を目指し、「強い素材」と「当社独自の多彩なソリューション」を組み合わせた提案を加速します。

【組織図】 赤線が今回、改編した組織



（※1）輸送機材事業企画室を発展・改編  
（※2）マルチマテリアル構造・接合研究室を発展・改編

以上